

主な活動名(交流活動・・・)と授業スライド等	生徒の実態に即した活動のポイント
① 自分や友達の「強み」を知ろう 「強み」について知る 「強み」の定義 「強み」を理解するポイント 2. 「強み」(ストレングス) について知る 「強み」(ストレングス) 人が持っている 考え方、行動、からだ 3. 「強み」(ストレングス)を理解するポイント 人が持っている 考え方、行動、からだ ポジティブ(プラス)なこと + ネガティブ(マイナス)に見えるもの	「強み」という言葉に対するイメージが「頭がいい」「優しい」等、一般的に考える「よさ」にとどまっていることが考えられます。 →スライドを見ながら、「強み」の定義を理解します。 ネガティブ(マイナス)だと思われることも自分の「強み」として捉える発想は出にくいことが考えられます。 →これから学習する「強み」が、単なる長所や特技とは異なることを知り、これからの学習内容への期待を高めます。
自分 Webbing 「自分 Webbing」の記入例 (授業者の好きなものや苦手なこと) 友達と自分の「強み」見付け 自分 Webbing 1 友達の「自分 Webbing」を見て、友達の「強み」だと思えることを書いてください。 あなたの「強み」は・・・ あなたの「強み」は・・・ あなたの「強み」は・・・ 2 「自分 Webbing」をやってみて、自分の「強み」だと思えることを書いてください。 私の「強み」は・・・	自信のなさや自己肯定感の低さから、自分の「強み」に気付いていない生徒がいると考えます。 →授業者の“好きなもの”や“苦手なこと”を示した「自分 Webbing」を参考に、書きやすいところから始めて、「自分 Webbing」を完成します。 友達の「強み」は、自分の「強み」よりも見付けやすく書きやすいことが考えられます。 →友達の「自分 Webbing」を参考に、友達の「強み」を見付けて友達のワークシートに書くと同時に、友達からも「強み」を書いてもらうことにより、自他の「強み」を知ります。

主な活動名（交流活動・・・）と授業スライド等

生徒の実態に即した活動のポイント

②

自分や友達の「強み」を生かそう

星☆いくつ

友達と自分の「強み」を知る

星☆いくつの活動の手順

始める前に・・・
シールの色を決めて記名する

活動①：友達に4つ選んでもらって、シールを貼ってもらう

活動②：自分にあてはまるものを4つ選んで、シールを貼る

活動③：自分の「強み」と思うものを3つ選んで、番号に○を付ける

「星☆いくつ」の活動の手順

始める前に・・・
シールの色を決めて記名する

活動①：友達に4つ選んでもらって、シールを貼ってもらう

活動②：自分にあてはまるものを4つ選んで、シールを貼る

活動③：自分の「強み」と思うものを3つ選んで、番号に○を付ける

自己肯定感の低さから、自分の「強み」を伝えることをためらったり恥ずかしいことと捉えたりする生徒がいることが考えられます。

→友達の「強み」だと思うところにシールを貼った後に、友達からももらったシールを参考に自分の「強み」について考える活動を通して自己理解と他者理解を深めます。

Step Up Webbing ～解決への一歩～

事前アンケート

授業前 アンケート

() 氏名 () 学号

思い入れのある、かつみんなが学びたいと思えるような課題を選びます。
自分の得意な分野を選んで、自分の得意なことや興味を持っていること、挑戦したいと思っていることなどを書き込んでください。また、自分の苦手な分野も書き込んでください。自分の苦手な分野を克服するためのアイデアを考えてください。

書いてみましょう！

みんなが、困っていること・解決したいこと
(教育相談の時にきてきたことやクラスでよく聞くことば) (1部です)

☐ 勉強が嫌い(教科名) ☐ 授業科目が苦手 ☐ 単語や公式覚えきれない ☐ 料理が苦手 ☐ 寝るのが苦手 ☐ 友達と長く話すのが苦手	☐ すぐゲームをしてしまう ☐ お金を使いすぎる ☐ 負けず嫌い ☐ 早起きが苦手 ☐ じっとしているのが苦手 ☐ 失敗が続くとやる気がなくなる
--	---

[Step Up Webbing] の記入例
(苦手なことを解決するアイデア)

例えば・・・

```

    graph TD
      A[〇〇さんは努力家だから...  
英語を覚えるのが苦手] --> B[英単語の苦手な友達と一緒に勉強する]
      A --> C[ユニークだから...  
洋楽を聴きながら英語の歌詞で勉強する]
      D[〇〇さんはユニークだから...] --> E[努力家だから...  
無理せず自分のペースで取り組む]
      D --> F[努力家だから...  
1日10冊ずつ目標に自習ノートで読む]
  
```

自分の”苦手なこと”や”困っていること”をすぐに書くことができない生徒がいることが考えられます。

→事前に、解決したいことについて書いておくことで、戸惑いなく活動に参加することができます。

”苦手なこと”や”困っていること”に対して自分の「強み」を生かして解決するという発想は出にくいことが考えられます。

→スライドの説明を参考にして、“苦手なこと”や“困っていること”を解決するアイデアを考える視点を学習します。

自分の「強み」を生かす

「強み」を生かすことにより、“やってみたいこと”や”頑張りたいこと”にチャレンジする意欲が高まると考えます。

→友達から記入してもらったアイデアを参考にし、自分の「強み」を生かした解決方法を考えさせることで、実践意欲を高めます。

3 「Step Up Webbing」を見て、自分がやってみたいことや悩んでいることを書きましょう。
いやになっても楽しいことで気持ちをリフレッシュしてまたがんばろうと思う。
エミナツユ

	主な活動名（交流活動…）と授業スライド等	生徒の実態に即した活動のポイント
③ 自分や友達の「強み」を生かしていこう	Treasure Webbing ～「強み」の宝箱～ 「Treasure Webbing」の書き方と記入例 (整理した自分の「強み」) <Treasure Webbing> (1) 1時目や2時目で見つけた、自分の「強み」を書きましょう。また、関連のあるものはつなげてみましょう。 これがあれば大丈夫！ 「これがあれば大丈夫！」の記入例（生かしたい「強み」） 【選んだ「強み」】 ・みんなが気付かない強みを見つけて ・明るく楽しくさせてあげる ・元気がある 【選んだ理由】 みんなが気付かない強みを見つけて、困った時に役に立つことができるようにしたいから 3時間の振り返り 3時間の授業を振り返って <2時目> めあて：自分や友達の強みを生かそう 活動：「星☆いくつ」「Step Up Webbing」	自分の「強み」に具体的なイメージが持てなかったり、友達から多くの「強み」を伝えてもらうことで返って自分の「強み」に疑問を感じたりする生徒がいると考えられます。 → 1、2時目で知った自分の「強み」を1枚のシートにウェビングすることで俯瞰的に自分の「強み」について確認することができます。 複数の「強み」の中から、場面に応じた「強み」を選ぶことは難しいと考えます。 → 「Treasure Webbing」の中から「強み」を3つ書き出すことで、自分の「強み」を焦点化します。選んだ理由を書くことで、なぜ選んだのか、どのように生かしていこうのかを考え、「強み」を生かしていこうとする意欲を高めて実践につなげます。 → 単元の学習を振り返ることで、これからも自分や友達の「強み」を見付けて互いに伝え合い、更に「強み」を生かしていこうとする意欲につなげます。

※3時間の学習で使用したワークシート等をファイルにとじ、「ストレングス・グッズ」として生徒に配付します。